

# デフォルト



- ウディタ基本システム  
デフォルトの選択形式です
- 万能ウィンドウを使用
  - 下部にコマンド説明が表示されます

# ロール



- 各コマンドが個別に描画され、  
項目が上下に動くことで選択します
- 用意されたウィンドウファイルは  
「CommandWindow\_roll\_increment.png」
- 項目は最初と最後でループしています

# スプレッド



- アイコンを用いて選択します
- アイコンサイズはデフォルトで10x10
  - コモンの一番上でサイズを変更すればある程度自動で並びを調整してくれるはずです
- 用意されたウィンドウファイルは「CommandWindow\_spread\_increment.png」
- 項目は左右でループしています

# センタースプレッド 1/2



- コマンド選択者に依らず画面中央に表示されます
- アイコンを用いて選択します
- アイコンサイズはデフォルトで10x10
  - コモンの一番上でサイズを変更すればある程度自動で並びを調整してくれるはずです
- 用意されたウィンドウファイルは「CommandWindow\_centerspread.png」
- 項目は左右でループしています
- キャラクター画像[コマンド用]を使用します  
詳細は次のページで

# センタースプレッド 2/2



- 画像は横に並べたもののアニメーションさせて表示します
  - アニメーション間隔は12Fです  
必要に応じ、コモン59行目で変更してください
- 表示は画像の下辺中央を基準とします
- アニメーション枚数を自動算出させるため、画像サイズに制約があります
  - 1コマのサイズを正方形としてください
  - 若干横に広い分には問題ありませんが、横に狭いとコマ数が減ります



Picture内の「Wolfarl\_centerspread\_sample」

サンプルの画像サイズは96×24  
このため1コマ24×24  
全4コマでアニメーションします